



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 南海辰村建設株式会社
コード番号 1850 URL <http://www.nantatsu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 猪崎 光一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 北村 聡

TEL 06(6644)7805

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	26,123	2.6	604	△15.5	530	△11.9	569	43.2
24年3月期第3四半期	25,450	△11.0	716	△44.9	602	△49.2	397	△41.1

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 570百万円 (54.9%) 24年3月期第3四半期 367百万円 (△48.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	1.97	—
24年3月期第3四半期	1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第3四半期	31,480		5,668		18.0
24年3月期	34,315		5,098		14.9

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 5,668百万円 24年3月期 5,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				期末	合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	36,500	△2.4	550	△36.0	430	△40.1	460	△18.8	1.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	288,357,304 株	24年3月期	288,357,304 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	57,782 株	24年3月期	56,430 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	288,299,522 株	24年3月期3Q	288,301,920 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にありましたものの、新興国をはじめとした世界的な景気減速の影響もあり、先行きは依然として予断を許さない状況にありました。

一方、建設業界におきましては、建設投資の削減に伴う受注競争の激化や建設資材価格の高止まりに加えて、労務単価の上昇も顕著になるなど、厳しい経営環境が続いてまいりました。

このような状況の下、当社グループでは平成24年度を初年度とする「3カ年経営計画」の基本方針にもとづき、「目標受注工事高の確保」と「目標利益の達成」に向けて積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ2.6%増の261億23百万円、営業利益は前年同四半期に比べ15.5%減の6億4百万円、経常利益は前年同四半期に比べ11.9%減の5億30百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ43.2%増の5億69百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

(建設事業)

厳しい受注環境が続いたものの、売上高は前年同四半期に比べ4.6%増の257億90百万円となりましたが、建設資材価格の高止まりや労務単価の上昇等により、セグメント利益は前年同四半期に比べ0.7%減の6億13百万円となりました。

(不動産事業)

販売用不動産の売却件数が減少したこと等により、売上高は前年同四半期に比べ58.5%減の3億32百万円、セグメント利益は前年同四半期に比べ88.3%減の14百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金等を回収したこと等により、前連結会計年度に比べ28億35百万円減の314億80百万円となりました。

負債合計は、支払手形・工事未払金等及び借入金が増加したこと等により、前連結会計年度に比べ34億5百万円減の258億11百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益5億69百万円を計上したこと等により、前連結会計年度に比べ5億70百万円増の56億68百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期業績および今後の見通しを勘案し、予想数値を修正しました。

なお、連結業績予想の修正につきましては、本日（平成25年1月30日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,033	3,248
受取手形・完成工事未収入金等	18,838	14,598
販売用不動産	789	781
未成工事支出金	140	312
不動産事業支出金	48	48
材料貯蔵品	86	76
繰延税金資産	21	39
その他	538	720
貸倒引当金	△41	△40
流動資産合計	22,456	19,784
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,863	2,857
土地	7,428	7,397
その他（純額）	89	111
有形固定資産合計	10,381	10,366
無形固定資産		
投資その他の資産	99	110
破産更生債権等	3,605	2,612
繰延税金資産	148	132
その他	601	629
貸倒引当金	△2,975	△2,156
投資その他の資産合計	1,379	1,218
固定資産合計	11,859	11,695
資産合計	34,315	31,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,916	13,259
短期借入金	10,669	8,576
未成工事受入金	290	233
不動産事業受入金	—	1
完成工事補償引当金	37	24
工事損失引当金	216	35
賞与引当金	95	43
その他	451	580
流動負債合計	25,677	22,755
固定負債		
長期借入金	2,016	1,560
退職給付引当金	1,332	1,309
役員退職慰労引当金	3	3
その他	188	183
固定負債合計	3,540	3,056
負債合計	29,217	25,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	1,424	1,993
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,125	5,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26	△26
その他の包括利益累計額合計	△26	△26
純資産合計	5,098	5,668
負債純資産合計	34,315	31,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	25,450	26,123
売上原価	23,299	24,198
売上総利益	2,151	1,924
販売費及び一般管理費	1,435	1,319
営業利益	716	604
営業外収益		
受取利息	18	24
受取配当金	4	4
その他	22	11
営業外収益合計	45	39
営業外費用		
支払利息	124	99
その他	34	14
営業外費用合計	159	114
経常利益	602	530
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	120
特別利益合計	—	120
特別損失		
貸倒引当金繰入額	185	—
特別損失合計	185	—
税金等調整前四半期純利益	417	650
法人税、住民税及び事業税	24	83
法人税等調整額	△4	△2
法人税等合計	19	81
少数株主損益調整前四半期純利益	397	569
四半期純利益	397	569

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	397	569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	0
その他の包括利益合計	△29	0
四半期包括利益	367	570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367	570
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	不動産事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	24,650	800	25,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	10	15
計	24,655	810	25,466
セグメント利益	617	122	739

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	不動産事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	25,790	332	26,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	9	15
計	25,796	341	26,138
セグメント利益	613	14	627

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	739	627
全社費用(注)	△23	△22
四半期連結損益計算書の営業利益	716	604

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 部門別売上高明細表

区分		前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
建設事業	建築	18,094	71.1	18,379	70.3	284	1.6
	土木	5,394	21.2	6,239	23.9	844	15.7
	電気	1,161	4.6	1,171	4.5	10	0.9
計		24,650	96.9	25,790	98.7	1,140	4.6
不動産事業		800	3.1	332	1.3	△467	△58.5
合計		25,450	100	26,123	100	672	2.6

(2) 受注状況

区分		前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受注工事高	建築	(900) 16,205	61.9	21,858	70.7	5,652	34.9
	土木	7,818	29.8	7,525	24.4	△292	△3.7
	電気	2,173	8.3	1,510	4.9	△663	△30.5
合計		(900) 26,198	100	30,893	100	4,695	17.9
繰越工事高	建築	21,796	77.1	24,014	77.0	2,217	10.2
	土木	5,387	19.1	6,552	21.0	1,165	21.6
	電気	1,074	3.8	608	2.0	△465	△43.3
合計		28,257	100	31,175	100	2,917	10.3

- (注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。
 2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。
 3 前第3四半期連結累計期間の受注工事高の上段()書き表示額は、前期繰越工事高のうち、経済状況の変化等により事業が中止となった工事の額であります。

以上